

特集 まちづくりに参加しませんか？

「まちづくり」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか。面倒？ 難しそう？ 堅苦しく考えることはないのです。自分も楽しんで、みんなの笑顔につながればすてきだと思いませんか。



高知市には
まちづくり条例があります

この条例は、正式名称を「高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例」といいます。市民や行政の役割分担を明確にし、市民の自主的なまちづくり活動を支えるべくための仕組み作りの基本として平成15年に制定されました。

まちづくりってなんだろう

「自分の住んでいるまちをよくしたい」という気持ちがあるまちづくりの原動力です。でも、何もかも自分一人のできるものではありません。や

れること、やりたいことから始めて、できなかつたら隣の手に手伝ってもらおう。また、ほかの人の活動で、自分のできるものがあつたらお手伝いをする。そんなことが、知らず知らずのうちに住みよい地域づくりにつながっていくのではないのでしょうか。そこで必要になってくるのが適切なアドバイスや場の提供、資金面でお手伝いなどです。

まちづくりの頼れる味方
市民活動サポートセンター

市民活動サポートセンターは、まちづくりなど市民活動を支援する目的で設立された公共の施設で、NP

〇高知市民会議が運営しています。市民活動やボランティア活動の相談、情報収集・提供、紹介やNPO法人・団体の設立・運営等のアドバイスを行っています。

場を提供することを目的に、さまざまなテーマに沿って自由な雰囲気の中で話し合う「まちづくりトークcafé」を毎月実施

【広報・啓発】助成金やイベント、市民活動等の情報を掲載した広報紙の発行

【会議室・機器等の貸し出し】ボランティア活動や公益性のある市民活動をする団体を対象とした、会議室印刷機、プロジェクター、パソコン等各種備品の貸し出し（利用料金等については、お問い合わせください）住所・連絡先

【人材育成】NPOを支援するための「スキルアップ講座」、まちづくりに興味のある方が、まちづくりの手法や考え方を学ぶ「まちづくり市民連続講座」の開催

〒780 0862 鷹匠町2 1
43 たかじょう庁舎2階
☎820 1540、ファクス820 1665

【調査・研究】NPOの組織や活動の課題解決を探り、団体間の交流を深めるための「こうちNPOフォーラム」や、市民一人一人が身近な防災について考える「市民がつくる防災フォーラム」等、調査・研究活動の実施

資金面でもお手伝い・公益信託
高知市まちづくりファンド

ボランティア活動にもお金がかかります。利益を上げることが目的でない市民活動にとって、資金集めは切実な問題です。まちづくりファンドは、そんな活動を応援するために、市および（財）民間都市開発推進機構が信託した原資を元に、四国銀行が運営しています。

【交流事業】市民が気軽に話し合う

まちづくりファンドでは、公開審査会の場で助成先の審査・選考を行うとともに、活動に対する助言や団体間の交流なども行います。また、中間発表会や最終発表会において、助成団体の活動の状況・成果等の発表や参加者の交流を行い、市民のま



市民活動サポートセンター

まちづくり条例見守り委員会からの報告

近年、さまざまなボランティアや市民活動に自主的に参加する人が増えています。多様化したまちづくりに柔軟に対応するために、市民と行政のパートナーシップをよりいっそう強めていく必要があります。高知市まちづくり条例見守り委員会では、年間4回程度の委員会を開き、条例に謳われている仕組みが適正に機能しているかを審議しています。第1期見守り委員会（平成16～17年度）では「市民活動サポートセンター」「公益信託高知市まちづくりファンド」「コミュニティ計画」について調査・検討し、改善すべき点などを報告書としてまとめ、市長に提言しました。昨年度からの第2期見守り委員会で話し合われている内容をご紹介します。

第2期見守り委員会

～平成18年4月から13人の委員でスタート～

第1回目 今期のテーマを検討（平成18年4月開催）審議のテーマを、市民活動への「参加」と「参加のきっかけづくり」に決定。参加を阻む要因を分析することになりました。

第2回目 参加の動機と阻害要因の洗い出し（平成18年6月開催）主催者側と参加者の双方にメリットがあることが、活動を継続していく上で大切だということに気づきました。

第3回目 参加しやすくする工夫や活動を広げるための工夫を検討（平成18年9月開催）参加したい人と手伝ってほしい人のマッチング、また市民活動間のつながりが重要であることに気づきました。

第4回目 活動がより広がるためのコーディネートやしくみについて検討（平成18年11月開催）情報の発信と受信をつなげるとともに、まちづくりに関する情報提供や相談をしてもらう場としての市民活動サポートセンターを上手に利用してもらうことが重要だと気づきました。

今後の予定

これからの検討課題として「市役所全体がパートナーシップのまちづくりを進めているか」といった視点から話し合っていきます。

ス
「まちづくりはじめの一步」コース
【助成金額】 定額5万円（事業費総額が5万円未満の場合は全額助成）
「まちづくり一歩前へ」コース
【助成金額】 総事業費の4分の3以内で、上限30万円
 事前相談・応募受け付け：市民活動サポートセンター
 ☎820 1540
【受付時間】 月～金曜日/10時～21時



まちづくりファンド公開審査会

ちづくり活動の支援や拡大を図っていきます。現在、次のコースの応募を受け付けています。応募の締め切りは、いずれも6月20日（水）です。応募資格、審査方法についてはそれぞれの事前相談・応募受け付け先までお問い合わせください。

時、土曜日/10時～18時（日曜日、祝日は休み）
「まちづくり大きな一歩」ソフトからハードへ」コース
【助成金額】 上限300万円（助成率100%）

まちづくりファンドはみんなで支える仕組みです
 まちづくりファンドは、高知市の出捐金等を、毎年取り崩しながら運営しています。少しでも長くまちづくり活動を応援できるように、企業や多くの市民の皆さんの寄付を募っています。
◆寄付に関するお問い合わせ先
 (株)四国銀行本店お客さまサポート部
 信託担当 ☎871-2178

事前相談・応募受け付け：〒780 8605 南はりまや町1-1
 (株)四国銀行本店お客さまサポート部 信託担当
 ☎871 2178
【受付時間】 月～金曜日/9時～17時（土・日曜日、祝日は休み）



第2期見守り委員会委員長 神崎健史さん

見守り委員会からのメッセージ
 まちで暮らす一人一人がまちづくりの主役です。できることを、できる時に、無理せずに「まちづくりに関わっていくことが大切ではないでしょうか。」忙しくてまちづくり活動なんて時間がとれない、「自分に何ができるかわからない」と思つかもしれませんが、思いや喜びを共有できる仲間と知り合えることの楽しさや、主体的にかかわることで得られる達成感、非常に大きいものです。仲間づくり、生きがいづくりという気軽な気持ちで、まちづくり活動へ一歩踏み出してみませんか？多くの仲間たちが、皆さんの参加を待っています。

